



普通科3年次 政治経済

県議会議員と意見交換を行いました

県議と意見交換 政治参加に理解

鶴岡中央高3年生

鶴岡中央高（兼子由香校長）の3年生と県議5人の意見交換会が22日、鶴岡市の同校で開かれ、若者の政治参加などについて議論した。写真。

同校の政治経済の科目を選択している3年生48人が参加。若者が政治に興味を



持つ方法として、インターネットでの投票などを提案した。県議はネット投票に

関し「マイナンバーなどで本人確認ができれば実現可能だ」などと答えた。

子育て支援や働き方についても意見を交わし、生徒からは「子ども用おむつを無償で配布できるか」「県内で男性の育児休暇は取得できているのか」といった質問が出された。参加した荒生佳帆さん（17）は「自分のよりよい生活のために、政治参加が大事だと知った」と話した。（真壁慶次）

山形新聞

令和5年1月23日